

横田基地所属C-130H輸送機の部品遺失について（要請）

平成29年7月14日、横田防衛事務所を通じて、「平成29年7月12日（水）午後、訓練飛行後に行った点検中に横田基地所属C-130Hの金属部品が無いことが判明。着陸装置の一部の部品で、大きさは約2インチ×5インチ（約5cm×12.7cm）、重さは約1ポンドのプレートである。」との情報を得ました。

部品等の落下については、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものです。

については、事故の発生に対して嚴重に抗議するとともに、貴職におかれましては、このような状況を十分に認識され、下記のとおり対応するよう要請します。

記

- 1 事故の経緯を明らかにするとともに、原因究明を行い再発防止を図ること。
- 2 航空機の点検整備を強化し、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を当市に速やかに提供すること。

平成29年7月14日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

ケネス E. モス大佐 殿

あきる野市長 澤 井 敏

